

気軽に着物を楽しめるように着物の仕立てやお直しを低価格で提供

株式会社舎那利

代表取締役

白井 亜希子さん



白井 亜希子さん

平成26年度 採択事業

着物文化を取り巻く状況と潜在的ニーズ

全国的に見て、着物文化は減退する傾向にあります。生産量も減少し、着物を取り扱うお店も数を減らしているのが現状です。業界の規模縮小と相互に影響しているのは確かですが、消費者の興味も薄れ、着る機会も少なくなっており、世界に誇る日本文化が衰退しているように感じられます。一方で、京都市内においては、着物のレンタルを扱う店舗が増加し、国内外からの観光客が着物を身に纏って歩く姿は珍しい光景ではなくなっています。



舎那利の店舗

着物愛好家はまだまだ多く、綺麗な着物を一度は着てみたいという潜在的なニーズは確実に存在しています。また、冠婚葬祭、子どもの学校行事等での装いを考えた時、和服という選択肢が頭をよぎる女性は少なくないのではないのでしょうか。「祖母や母から受け継いだ着物や反物がタンスの中に眠っている家庭は、こと京都においては結構な数になる」と2014年4月に株式会社舎那利を立ち上げた白井亜希子さんは話します。着物を着たいというニーズはある、実は手元に着物がある。では、なぜそれらが眠ったままの形なのでしょう。

中古の着物を自分に合わせて着るためにはお直しが必要です。反物ならば当然、仕立てが必要になります。クリーニングはどこに出せばいいのかわからないのか。それらの値段はいくらなのだろうか。着付けの方法から、必要になる小物類はどこで手に入るのか。着物の使用に際し、改めて消



お直しの作業

伝統製品の活用

費者が直面する悩みは数多く挙げられます。悩んだ末、多くの場合は『呉服屋』が連想されるでしょう。

『『呉服屋』というお金がかかりそうで、加工や仕立て、相談に立ち寄るには敷居の高い場所になっています。でも実は、着物はそんなに難しいものではないんです』と白井さん。そこで、株式会社舎那利では、着物文化を守り受け継ぎたいという思いから、明確な価格表示によって消費者の悩みを解決する店舗『舎那利』を右京区西院に構えました。WEBサイトも開設し、サービス内容と価格を明示しています。

地域の人から頼られる『着物なんでも屋さん』に

舎那利では、和裁士や関係会社との連携を密にすることで、着物に関するサービスの低価格化を可能としています。「縫製の多くは海外で行っており、経費を削減しています」と白井さんはいいます。自らが着物のファンでもある白井さんは、ユーザーの視点に立ち、仕立てやお直しの相談を持ち込んできた顧客にとってベストな方法を提案しています。



店舗内、和装小物を主とした売場

店舗は、地域の住民と密着し、着用日直前の悩みの飛び込み相談を受けられる場所になるよう心がけられています。「緊急時に『あ、あそこ着物なんでも屋さんだったな』と思い出してもらえることが大事です」と白井さん。フリーペーパーやWEBを利用した広報活動や、地域の人々が店の前を通った時に認知してもらう事で、これを実現したいと考えています。開店から1年以上が経った今、紹介や口コミによる効果もあって、1日に平均1件程度は新規の問い合わせがある状況になっています。潜在的ニーズを形にするための場所として、知名度と実績を上げています。

新規ユーザーの発掘にも

店舗内は、和雑貨や和装小物をメインに陳列した、すっきりとした印象の空間になっています。「ユーザーにとっての敷居を高くしてしまう『いかにも』な着物屋にはせ

ず、気軽に立ち寄れる店にしたい」と雰囲気づくりにこだわる白井さん。木材を多用した、一見、何屋か迷うような、カジュアルな構えで



流しそめんのイベント

す。店舗の半分は、妹さんが運営するスキンケア用品の販売スペースになっており「スキンケアの相談に来た人にも、着物の相談場所として認知してもらうことができる上、着物の魅力を伝える機会も増えています」と白井さんは相乗効果を実感します。

着物、ひいては日本文化の魅力をユーザーと共有する目的で、各種イベントも催しています。浴衣で祇園祭に出かけたり、京町家で流しそめんを浴衣姿で楽しむ他、書道のイベントも行いました。

会社のこれからと着物文化の継承

今後は、アンティークの着物をWEB上で販売する企業と連携し、そこで着物を購入したユーザーを引き継ぎ、販売された着物のお直しを一括して行うという契約が決まっています。「店舗にはカフェスペースを設け、さらに立ち寄りやすい場所として、潜在するニーズの発掘と顧客の獲得に繋げたい。継続的な広報の強化も課題です」と白井さんは意欲的です。

日本らしさを受け継ぐ京都の街で、着物にまつわるサービスを分かりやすく手軽な形で提供し、ユーザーが着物を日常的に楽しむ事ができる環境作りに尽力している株式会社舎那利と白井さん。新規の着物ファンをつくと同時に、文化を守り、継承していく牽引力となっていくことでしょう。

事業概要

株式会社 舎那利

<http://www.syanari.jp/>

代表：代表取締役 白井 亜希子

業種：着物仕立・加工、着物クリーニング・染み抜き
和装小物・和雑貨の販売、着物・古着の販売

創業：2014年4月

住所：〒615-8207 京都市西京区松室河原町 57-1

TEL：075-316-5025 FAX：075-323-2339